



TCFD への賛同を表明しました

GPIF はこのたび、金融安定理事会 (FSB) によって設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」への賛同を表明しました。

GPIF は、環境・社会問題などが資本市場に与える負の影響を減らし、運用資産全体の長期的なリターンを向上させるため、ESG (環境・社会・ガバナンス) を考慮した投資を推進しています。GPIF は ESG 情報の開示促進を通じ、市場全体の持続可能性向上に努めてまいります。



TCFD は、Task Force on Climate-related Financial Disclosure の略であり、G20 財務大臣・中央銀行総裁会合からの要請を受け、FSB によって設立されました。TCFD は、2017 年 6 月、投資家の適切な投資判断のために、気候関連のリスクと機会がもたらす財務的影響について情報開示を促す任意の提言を公表しました。現在、年金基金をはじめとするアセットオーナー、運用会社、銀行などの金融機関や企業、政府など世界中の 550 を超える機関が TCFD の提言に賛同しています。